

2023年度 第1学期

神奈川学習センター

教務関係オリエンテーション



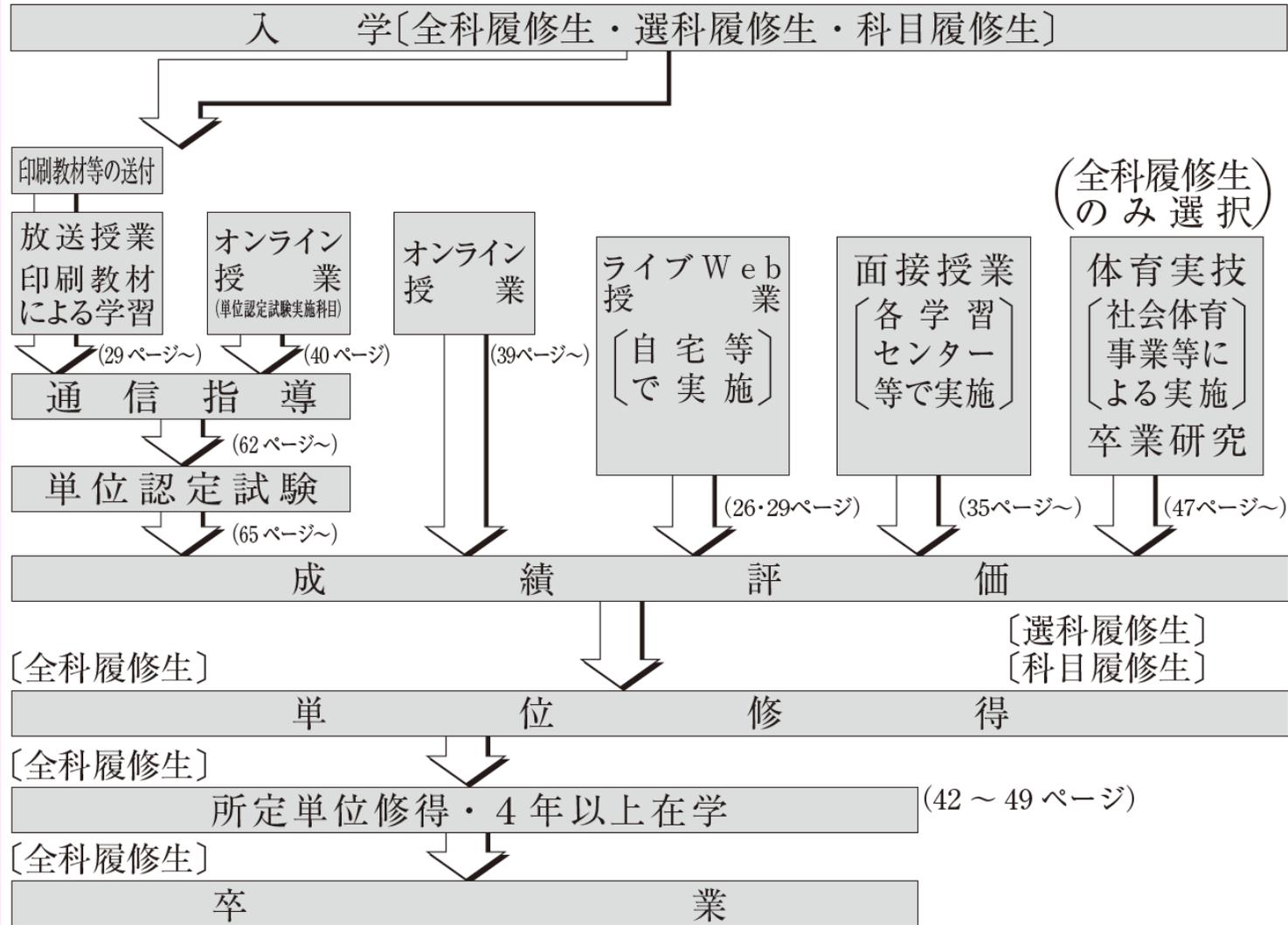
教務関係参照冊子



この資料の図表はこれら冊子、放送大学ホームページからの抽出しです。
以下資料はページに合わせ学部栞、大学院栞、手引に標記してあります。



放送大学の学習システム(学部葉P12)



1. 履修計画のたて方(1/3)

※資料の説明を次のようにマーク分けしています。

学部 → ● 大学院 → ○

★学生の種類(学部の全科履修生・選科履修生・科目履修生、大学院の博士全科生・修士全科生、修士選科生、修士科目生)によって手続きや学習の流れが異なります。

(学部栞P42～)

●学部の『全科履修生』

- ・右の卒業要件に従い計画する。
- ・修得単位数だけではなく科目区分、授業形態、修業年限の条件を満たすことが必要

●学部の『選科履修生・科目履修生』

- ・ご自身の学習テーマや興味・関心に基づいて科目を履修してください。
- ・選科生と科目生も面接授業を履修することができます。

卒業要件(●学部栞P44,45)

①科目区分

科目区分	修得すべき最低単位数		単位の認定方法
	科目区分を問わない単位数	科目区分を問わない単位数	
基盤科目	14単位	うち外国語 2単位	卒業研究の6単位は、所属するコース(自コース)の専門科目として認定する。
導入科目	76単位	うち自コース開設 34単位	
専門科目		うち他コース開設 4単位	
総合科目		4単位	
計	124単位		

(注)「資格取得等に資する科目」のうち、看護師資格取得に資する科目の単位は、コース科目(うち他コース開設)において修得すべき最低単位数に算入する。

②授業形態

授業形態	修得すべき最低単位数		単位の認定方法
	授業形態を問わない単位数	授業形態を問わない単位数※1	
放送授業	94単位	10単位※	卒業研究の6単位のうち3単位を放送授業、3単位を面接授業の単位として認定する。
面接授業又はオンライン授業※2	20単位		
計	124単位		

※1 オンライン授業3科目「教育課程の意義及び編成の方法(15)」「幼児理解の理論及び方法(15)」「小学校外国語教育教授基礎論(17)」は、卒業要件上は「授業形態を問わない単位数」として取り扱う。

※2 ライブWeb授業科目は、卒業要件上は「面接授業又はオンライン授業」として取り扱う。

③修業年限(●学部栞P48)

区 分	入学年次	修業年限	在学年限
第1年次入学	第1年次	4年	最長10年
	第2年次	3年	最長8年
他大学等からの編入学	第3年次	2年	最長6年
	第3年次	2年	最長6年
本学を卒業して再入学※	第3年次	2年	最長6年

※本学を卒業した方が、2016年4月以降に再入学する場合は、上記の要件に加え再入学したコースのコース科目から新たに16単位以上修得する必要があります。詳細は91ページをご覧ください。



1. 履修計画のたて方(2/3)

(大学院葉P53～55)

○大学院の『修士全科生』

- ・所属プログラムにより修了要件が異なります。
- ・研究テーマに関連する科目を優先して履修。主研究指導教員と相談。

○大学院の『修士選科生・修士科目生』

- ・ご自身の学習テーマや興味・関心に基づいて自由に放送授業もしくはオンライン授業科目を履修してください。

修了要件(○大学院葉P22)

1. 修士課程 (修士全科生)

次の条件をいずれも満たす必要があります。

- ① 2年以上在学すること。(在学年限は5年)
- ② 研究指導8単位に加え、所属プログラムの放送授業科目またはオンライン授業科目8単位を含めて30単位以上を修得すること。(下表参照)
ただし、臨床心理学プログラムにおいては、必修科目・選択必修科目があり、34単位以上を修得する必要があります。
- ③ 修士論文の審査および口頭試問に合格すること。

プログラム名	修得すべき最低単位数	内 訳		
		研究指導	所属プログラムから修得すべき最低単位数	左記以外の単位
生活健康科学 人間発達科学 社会経営科学 人文学 情報学 自然環境科学	30	8	8	14
臨床心理学	34	8	26	0

※「左記以外の単位」とは、他プログラムも含め大学院で開講している放送授業またはオンライン授業の単位を指します。

※修士全科生への入学前に、本学大学院の修士選科生・修士科目生として修得した単位(閉講科目の単位も含む)は、本学学部の卒業要件として使用した単位を除き、修士全科生の修了要件として認められます(手続は特に必要ありません)。



1. 履修計画のたて方(3/3)

(大学院栞P55)

○大学院の『博士全科生』

- ・入学時オリエンテーションへの出席。
- ・修了要件を確認のうえ、主研究指導教員と相談。

修了要件(○大学院栞P23)

2. 博士後期課程(博士全科生)

(1) 2019年度以前の入学者

次の条件をいずれも満たす必要があります。

- ① 3年以上在学すること。(在学年限は8年)
- ② 所属するプログラムの基盤研究科目4単位(特論科目2単位、研究法科目2単位の合計4単位)、所属するプログラム以外のプログラムの基盤研究科目2単位(研究法科目2単位)、特定研究科目12単位を修得すること。
- ③ 博士論文の審査および口頭試問に合格すること。

科目区分	区分	修得すべき最低単位数	内訳	
			所属プログラムから修得すべき最低単位数	所属プログラム以外のプログラムから修得する最低単位数
特論科目		18	2	-
研究法科目			2	2
特定研究科目			12	-

(2) 2020年度以降の入学者

次の条件をいずれも満たす必要があります。

- ① 3年以上在学すること。(在学年限は8年) ※
- ② 所属するプログラムの基盤研究科目4単位(特論科目2単位、研究法科目2単位の合計4単位)、所属するプログラム以外のプログラムの基盤研究科目1単位(研究法科目1単位)、特定研究科目12単位を修得するものとする。
- ③ 博士論文の審査および口頭試問に合格すること。

科目区分	区分	修得すべき最低単位数	内訳	
			所属プログラムから修得すべき最低単位数	所属プログラム以外のプログラムから修得する最低単位数
特論科目		17	2	-
研究法科目			2	1
特定研究科目			12	-

※一定の要件を満たした者を早期修了の対象者とすることができます。詳細は、主研究指導教員に確認をしてください。



2. 各授業について(1/2)

★放送授業・・・●学部(栞P29～)、○大学院(栞P41～)

- ・視聴(週1回45分×15週)、(BS放送(テレビ:231ch・232ch
ラジオ:531ch)、インターネット配信、学習センターでの視聴)
- ・印刷教材(視聴と並行して学習)

★面接授業・・・●学部(栞P35～)

- ・1時間30分を7回、45分を1回、計8回行います。
- ・8回全て出席する必要があります。
- ・評価方法は、試験、レポート等により行います。

・開講期間 **第1学期:2023年4月15日(土)～2023年7月30日(日)**
第2学期:2023年10月14日(土)～2024年1月28日(日)

面接授業科目の主な開講形態(●学部栞P37)

● 連続する土曜日・日曜日の授業の後に試験・レポートなどを実施している場合

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
土曜日	1回	2回	3回	4回	
日曜日	5回	6回	7回	8回	試験・ レポート など



2. 授業について(2/2)

★オンライン授業・・・●学部(栞P39)、○大学院(栞P47～)

- ・全ての学習をインターネット上で行う。
- ・1単位科目は全8回、2単位科目は全15回にわたって配信し、学期ごとに完結。
- ・配信期間 **第1学期:2023年 4月5日(水)10時～2023年8月31日(木)17時**
第2学期:2023年10月5日(木)10時～2024年2月29日(木)17時
- ・1コマあたり講義が45分程度、課題(択一式問題、レポート、ディスカッションなど)の解答が45分程度を合わせた1回約90分程度の受講。
- ・科目ごとに決められた期間(学期開始後に必ず締切を確認すること)に課題を提出することで成績評価を行うため、通信指導や単位認定試験は行わない(※)

※例外として「教育課程の意義及び編成の方法(’15)」「幼児理解の理論及び方法(’15)」「小学校外国語教育教授基礎論(’17)」の3科目は、通信指導(Webのみの受付)、単位認定試験を行う。

★ライブWeb授業 (旧称:同時双方向Web授業)・・・●学部(栞P26・29)

- ・自宅等でPC等を用いてリアルタイムで受講

★その他・・・●学部(全科履修生)(栞P46～)

- ・卒業研究、体育実技(いずれも**必修ではない**)



4. 単位の修得までの流れ

●学部(栞P61～)

○大学院(栞P63～)

★放送授業

- ・通信指導の提出
- ・添削結果、合否結果の受領

★単位認定試験

第1学期: 7月15日, 9時～25日, 17時

第2学期: 1月16日, 9時～24日, 17時

- ・一部科目を除き**Web受験方式**
- ・試験結果(成績)の受領
- ・次学期に限り、学籍が継続していれば再試験の受験が可能。

※重要※ (学部栞P66-67、院栞68-69)
 学習センターでの端末を使った受験申請方法
 学習センター受験申請書(印刷教材等に同封)を
 以下の期日内に郵送必着で提出ください。

第1学期: 4月1日(土)～5月24日(水)

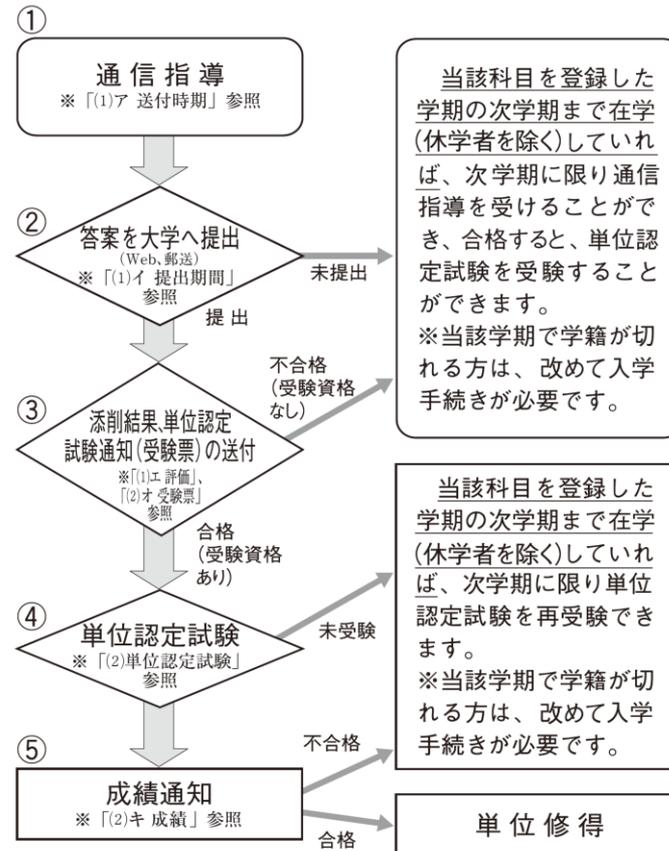
第2学期: 10月1日(日)～11月24日(金)

通信指導、単位認定試験

(●学部栞P61・○大学院栞P63)

4 通信指導、単位認定試験

<通信指導の提出から単位認定試験および単位修得の流れ>



(注) オンライン授業科目は、通信指導および単位認定試験を行いませんので再試験はありません。(「教育課程の意義及び編成の方法(15)」「幼児理解の理論及び方法(15)」「小学校外国語教育教授基礎論(17)」を除く。) 単位を修得できなかった場合、再度科目登録が必要ですのでご注意ください。



5. 成績

●学部(栞P70~)

○大学院(栞P72~)

★成績通知書送付

第1学期:8月下旬

第2学期:2月下旬

・成績評価(各授業共通)

① 100~90点

A 89~80点

B 79~70点

C 69~60点

D 59~50点

E 49~ 0点

合格

不合格

●学部(栞P70)

(様式例) 成績通知書 (2023年度第1学期)

授 業 科 目 名	単位数			評 価 評 語	認 定 状 況	備 考
	放 送 授 業	面 接 授 業	オ ン ラ イ ン 授 業			
○○○○('○○)	2			C		
○○○○('○○)	2			D		再試験可
○○○○		1		A		
○○○○('○○)	2			B		
○○○○('○○)			1	A		
○○○○		1		E		

(注) 評価欄、認定状況欄の評語は次のとおりです。

1. 放送授業(単位認定試験を実施する授業)、面接授業、オンライン授業、卒業研究及び体育実技。

- ① 成績評価が100~90点 (合格) 否 体育実技について
- A 成績評価が 89~80点 (合格) 未 単位を認定しない (不合格)
- B 成績評価が 79~70点 (合格) 未 単位認定試験未受験又は卒業研究未提出 (不合格)
- C 成績評価が 69~60点 (合格) 失 今学期単位認定試験失格
- D 成績評価が 59~50点 (不合格) 一 評価対象外 (不合格)
- E 成績評価が 49~ 0点 (合格) 認 修士科目について単位を認定する

2. 2018年度以前の面接授業

- 合 単位を認定する (合格)
- 否 単位を認定しない (不合格)

○大学院(栞P72)

(様式例) 成績通知書 (2023年度第1学期)

授 業 科 目 名	単位数			評 価 評 語	認 定 状 況	備 考
	放 送 授 業	面 接 授 業	オ ン ラ イ ン 授 業			
○○○○('○○)	2			C		
○○○○('○○)	2			D		再試験可
○○○○('○○)			1	B		
○○○○('○○)	2			A		

(注) 評価欄、認定状況欄の評語は次のとおりです。

- ① 成績評価が100~90点 (合格) 未 単位認定試験未受験又は卒業研究未提出 (不合格)
- A 成績評価が 89~80点 (合格) 失 今学期単位認定試験失格 (不合格)
- B 成績評価が 79~70点 (合格) 学 修士科目について学部の単位として認定する
- C 成績評価が 69~60点 (合格)
- D 成績評価が 59~50点 (不合格)
- E 成績評価が 49~ 0点 (不合格)



6. 次学期の科目登録について

●学部(栞P13)・○大学院(栞P16)

★次学期も学籍がある場合の科目登録

- 学部(科目履修生を除く)(栞P55～)
- 大学院(科目履修生を除く)(栞P56～)

①科目登録申請票(大学本部から送付)

- ・申請期間内に大学本部へ郵送
または

②システムWAKABA

- ・申請期間中に登録

★学籍がなくなる場合の科目登録

●学部の『科目履修生』

○大学院の『科目履修生』

- ・在学期間が終了する場合は、出願(入学)手続きから行う必要があります。

◎科目登録申請スケジュール

教務情報システム(以下「システムWAKABA」)または郵送のいずれか一つの方法によりご申請ください。科目登録時の注意事項等の詳細は、申請する学期の『科目登録申請要項』及び、本冊子の科目登録についての項を必ずご確認ください。

スケジュール	第2学期の申請	第1学期の申請
【推奨】システムWAKABAによる申請期間	8月15日～8月31日	2月13日～2月29日
郵送による申請期間	8月15日～8月30日(必着)	2月13日～2月28日(必着)
科目登録決定通知書 兼 学費払込取扱票 送付	9月中旬	3月中旬
学費の払込期限	9月30日	3月31日
印刷教材等の送付(第四種郵便)	9月中旬以降(入金後2週間～20日程度) ※第4種郵便は通常の郵便より時間がかかります	3月中旬以降(入金後2週間～20日程度) ※第4種郵便は通常の郵便より時間がかかります
授業開始	10月1日 オンライン授業は10月5日	4月1日 オンライン授業は4月5日

『科目登録申請要項』は、それぞれ7月中旬と翌年1月中旬より随時発送いたします。科目登録申請の8日前になっても関係資料が到着しない場合は、学生サポートセンター(TEL:043-276-5111)にご連絡ください。



7. 面接授業の追加登録

●学部(葉P58～)

- ★当初抽選後に空席があり、かつ受入れ可能な授業科目について、追加登録ができます。原則、各科目の開講日1週間前まで受付をしておりますが、追加登録期間前に開講する科目、追加登録を受け付けられない科目もあります。

★ 申込方法

※神奈川学習センターでは2023年度第1学期は、**受付初日の対面による抽選会は行いません。**受付方法の詳細についてはセンターウェブサイトをご覧ください。また、学習センターごとで申込方法が異なります。

- ・空席状況をHP及び掲示で公表します。(4月15日(土)、12時)
- ・詳細は、本部及び神奈川学習センターHPに掲載されています。
本部:<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/>
神奈川学習センター:<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

★面接授業時間割表

- ・学習センター1Fロビーに閲覧用の面接授業時間割冊子があります。
- ・学籍が継続する方には、次回本部から次学期の面接授業の冊子が送付されます。



8. 学習センターの利用(1/7)

1. 開所日・利用時間 (手引きP4～P6) (●学部栞P104～、○大学院栞P98～)

★開所日・利用時間

曜日	事務室窓口	図書事務窓口 図書室・視聴学習室	実習室
火～日	9:10～17:40	9:30～17:00	9:30～17:00

※単位認定試験期間中は、図書室、視聴学習室、実習室の使用はできません。

★閉所日:月曜日・祝祭日等

★臨時に閉所する場合があります。掲示板を確認してください。

★自然災害時には大学HPのほか、神奈川学習センターHP

[\(http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/\)](http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/)にも情報を掲載しています。

2. 諸手続 (手引きP29～P31)

★学生証の発行・再発行 (●学部栞P18～、○大学院栞P24～)

★住所変更 (●学部栞P84～、○大学院栞P81～)

★各種証明書の発行(1通200円) (●学部栞P97～、○大学院栞P92～)

★学生旅客運賃割引証の発行・・・**全科生** (●学部栞P122～、○大学院栞P115～)

(通学時の回数券用、調査・研究時のJR乗車券用)



8. 学習センターの利用(2/7)

3. 利用上の注意 (手引きP5～P6)

★**学生証**:学習センター利用の際は必ず学生証を携行してください。学習センターから求められた場合には、ご提示ください。

★**掲示板**:学習に関するお知らせ、学習センターで実施する行事等は1階掲示板に掲示します。来所の際は確認してください。(重要な事項は神奈川学習センターのホームページにも掲載します)

★**飲食**:飲食は、談話室、ロビー、休憩時間中の講義室でとってください。(黙食にご協力ください)
講義中は原則飲食禁止です。ただし、健康維持に必要な水分・糖分の補給は可能です。
フェスタ・ヨコハマ(学園祭)など例外的な場合以外、飲酒はできません。

★**喫煙**:敷地内は建物外も含め全面禁煙です。

★**ロッカー**:**現在利用停止中**

コイン式ロッカーを設置しています。使用期限は当日限りです。使用する場合は、学生証と「ロッカー使用願」を事務室に提出してください。専用コインを渡しますので、お帰りの際は返却してください。コインの返却が無い場合、ロッカーの荷物は回収します。保管期間は回収日より3 ヶ月間です。保管期間終了後は廃棄します。事務室での手続きなしで、施錠せずにロッカーの中に荷物を入れることは禁止です。この場合も荷物を回収し、1 ヶ月保管した後に廃棄します。



8. 学習センターの利用(3/7)

3. 利用上の注意 (手引きP6)

★駐車場

原則として自動車通学は認めておりません。ただし、障がいのある方で、車使用が不可欠な場合は、診断書や障害者手帳等をご持参いただき、事前に事務室へご相談ください。

★忘れ物

忘れ物は事務室で保管しています。保管期間は届出日より3ヶ月間です。保管期間終了後は廃棄します。

★持込禁止

刃物や火気等危険物の持込は禁止です。

★器物破損

故意または重大な過失により、施設や備品を破損・汚損等した場合には、原状回復のうえ損害賠償を求めることがあります。

★迷惑行為

他の学生や教職員等へ暴言・暴力等の迷惑行為は禁止します。

※「利用上の注意」に著しく違反した場合は、「イエローカード」または「レッドカード」を呈示し、学習センターの利用を制限もしくは禁止することがあります。



8. 学習センターの利用(4/7)

4. 図書室・視聴学習室 (手引きP32～P35)

★図書室

- ・図書を自由に閲覧できます。(蔵書整理対象本は除く)
- ・ご利用の際は、学生証と引き換えで座席札をお渡します。
- ・学習センターの蔵書は閲覧専用です。貸出はできません。
- ・中央図書館の資料の貸出、返却を受け付けます。

★視聴学習室

- ・**Web単位認定試験の体験版を利用できます。**
- ・テレビ・ラジオの放送授業、関連の映像資料等の視聴ができます。
- ・学生証と引き換えに座席指定し、視聴メディアは1度に1巻だけ視聴できます。
- ・スマートフォンやタブレットを持ち込んで、放送授業をWi-Fiを利用してインターネット視聴することができます。(IDとパスワードを付与するため、事前手続が必要です。事務室窓口でお尋ねください。)
ノートパソコンの持ち込み使用は認めていません。



8. 学習センターの利用(5/7)

5. 実習室 (手引きP35)

★**利用方法**:事務室にある「実習室利用願」を学生証と一緒に提出してください。Wi-Fiによるインターネットを利用する場合も同様です。(実習室以外でWi-Fiを利用する場合は上記とは別の手続きの上、ID とパスワードの取得が必要となります。)

★**注意事項**:学習センターにあるパソコンは、以下の用途で使用することはできません。

- ①単位認定試験の過去問の印刷
- ②オンライン授業での使用
- ③私的利用(年賀状、クーポン等、趣味等の印刷)

また、学習センターで作成したデータは必ずご自身のUSBメモリに保存してください。学習センターのパソコン内には絶対に保存しないでください。誤って保存された場合、データの保証はいたしません。
なお、実習室でUSBメモリを使用する前には、ウイルスに感染していないことをお確かめください。

★**プリンターの使用**

印刷できる枚数は、1人1日30枚までです。

用紙は窓口にてお受け取りください。用紙を持ち込んでの印刷はできません。



8. 学習センターの利用(6/7)

6. システムWAKABA及びキャンパスメール

(手引P37) (●学部葉P22～、P109～、○大学院葉P31～、P103～)

■システムWAKABA

①教務情報機能 ②キャンパスライフ機能 ③授業サポート機能

■キャンパスメール・・・学生全員にアドレス割振り。大学からの重要なお知らせも送られます。

★アクセス方法

放送大学ホームページ (<http://www.ouj.ac.jp/>) →「在学生の方へ」をクリック

★システムへのログイン方法

ログインID: 学生番号(ハイフンなし)

初期パスワード: 西暦生年月日

※不正利用防止のため、**必ず初期パスワードは速やかに変更**してください。

また、**一定期間経っても初期パスワードを変更していない場合は、システムにログインできなくなります。**

★利用可能なパソコンは、実習室(利用時は窓口へ申請)と談話室にあります。

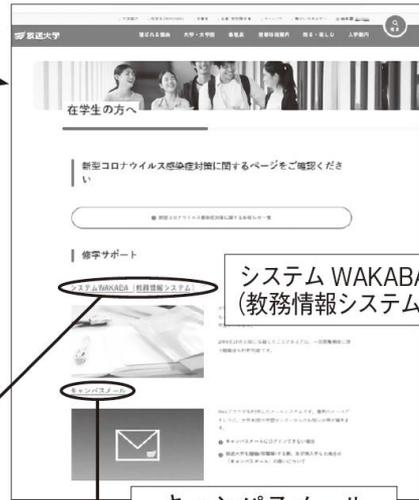


8. 学習センターの利用(7/7)

6. システムWAKABA及びキャンパスメール

アクセス方法(●学部葉P22～、○大学院葉P31～、◎手引P37～)

本学ウェブサイト【www.ouj.ac.jp】



ログイン

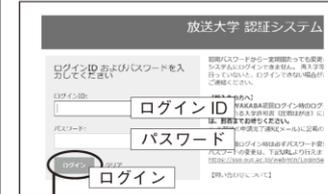


放送大学認証システム



次ページにつづく

放送大学認証システム



ログインIDおよびパスワードは、入学許可書に記載されています。

ログインIDまたはパスワードがご不明な場合は、総合受付(043-276-5111)へお問い合わせください。

システム WAKABA (PC 版)



主な機能

- ・キャンパスライフ、授業サポート
大学からのお知らせ、学習センターからのお知らせ、スケジュール、質問箱
- ・教務情報
学生カルテ、変更・異動手続、履修成績照会、科目登録申請
- ・学内リンク (各システムへのリンク)
放送授業 (テレビ、ラジオ科目) のインターネット配信システム、オンライン授業システム、Web通信指導システム、Web単位認定試験システム、ライブWeb授業システム

